

Ether PCC-T

取扱説明書・Windows® 98編

PN J613-M0414-00 Rev.A 980701

目次

この度は、「corega Ether PCC-T」アダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品をWindows98のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。


注意

この取扱説明書に記載の内容は、Windows98の事前評価版をもとに作成されています。手順などが正式版のWindows98におけるものと異なっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1　取付・配線

1.1 活線挿抜 1 ─ PC カードの挿入

Windows98は、活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットに挿入することができます。

(1)　「corega Ether PCC-T」の文字が印刷された面を上にして、コンピュータの PC カードスロットに確実に奥まで押し込んでください。


警告

コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違って装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PCカード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

(2)　本製品を PC カードスロットに挿入すると、Windows98 は Plug & Play 機能により本製品を検出します。

(3)　「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」を表示させると（「コントロールパネル」→「PC カード（PCMCIA）」）、「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」の名前が表示されます（図 2.4.5 をご覧ください）。

1.2　活線挿抜 2 ─ PC カードの取り外し

Windows98は、活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。


警告

以下の手順とは異なった手順で本製品を取り外すと、コンピュータのハングアップや、Windows98 ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順と異なる手順で起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

(1)　ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えばInternet Explorer、Netscape Navigator、Telnetやデーターベースアプリケーションなどを全て終了してください。また、「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、全て切断してください。

(2)　タスクバーのPCカードアイコン(デスクトップ右下)をクリックします。

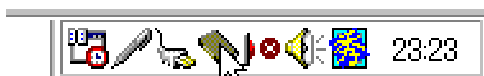


図 1.2.1　PCカードアイコン

(3)　「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card の中止」バーが表示されますのでバーをクリックしてください。



図 1.2.2

(4)　「OK」をクリックしてください。



図 1.2.3

(5)　コンピュータのPCカード取り外しボタンを押してください。本製品は、PCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。



メディアケーブルを引っ張ってPCカードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアケーブルの故障の原因となります。

2　Windows98 へのインストール



ここに挙る手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。また、本書では、AT 互換機 /PC98-NX へのインストールを例にして説明します。PC-9800/PC-9821 の場合、ディスクドライブ名などが異なります。

スタート

・Windows98で初めて本製品を使い始める場合

ドライバーディスクから

2.3ドライバーの新規インストール

2.4インストールの確認とアダプターの設定

スタート

・Windows95で既に本製品を使っていた場合
・最新のドライバーディスクを入手したとき

ドライバーディスクから

2.5 ドライバーの更新

終わり

図 2.3.1

本製品のドライバーを初めてWindows98にインストールする場合、例えば以下にあげるような場合には、「**2.3 ドライバーの新規インストール**」を実行し、その後「**2.4 インストールの確認とアダプターの設定**」を実行してください。新規インストール手順では本製品に付属のドライバーディスクからドライバーをインストールします。

- Windows98を新規インストールし、これから本製品のドライバーのインストールを始める。
- プリインストール版 Windows98 へのインストール。
- Windows95からWindows98にアップグレードしたが、Windows95では本製品のドライバーをインストールしておらず、Windows98 で初めて本製品を使い始める。

Windows95 から Windows98 にアップグレードしたとき、既に **Windows95 で本製品を使用していた**場合でも、最新ドライバーへの更新をお薦めします。また、弊社のホームページなどから最新のドライバーを入手した場合も更新手順を実行します。ドライバーの更新をする場合は、「**2.5 ドライバーの更新**」へお進みください。

2.1 ドライバーディスク

本製品には、下記の2種類のドライバーディスクが付属しています。ご使用のコンピュータ機種に合わせてご使用ください。

- AT/PC98-NX 用(AT 互換機 /NEC PC98-NX)
- PC-9800/PC-9821 用(NEC PC-9800/PC-9821)

Windows98用ドライバーは、「**\windows.98**」ディレクトリに置かれています。また、必ずドライバーディスクに含まれる「**README.***」ファイルをお読みください。「README.*」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が書かれています。


注意

\README.1ST(Read me first.)ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関わることが記載されています。各ディレクトリの中には、それぞれのドライバーに関連する README ファイルが存在します。

2.2 用意するもの

- corega Ether PCC-T カード、メディアケーブルなど
- コンピュータ(Windows98 インストール済み)
- corega Ether PCC-T ドライバーディスク(本製品に付属)
- Windows98 の CD-ROM



Windows98がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows98のバックアップCD-ROMが付属しているかどうかをご確認ください。バックアップCD-ROMが付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクにWindows98のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

2.3 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーをWindows98に新規インストールする手順を説明します(ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。本製品のドライバーは、本製品に付属のドライバーディスクを使ってインストールします。

(1) 本製品をコンピュータのPCカードスロットに取り付けない状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows98を起動してください。

(2) Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに入れてください。

(3) コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。

(4) Windows98は本製品を自動的に検出し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



図 2.3.1

(5)　「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」(推奨) ラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

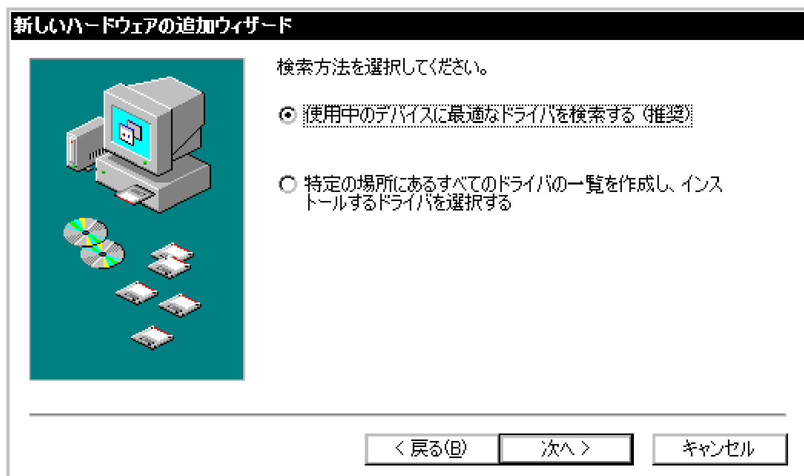


図 2.3.2

(6)　本製品のドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、「フロッピーディスクドライブ(F)」がチェックされていることを確認してから、「次へ」ボタンをクリックしてください。

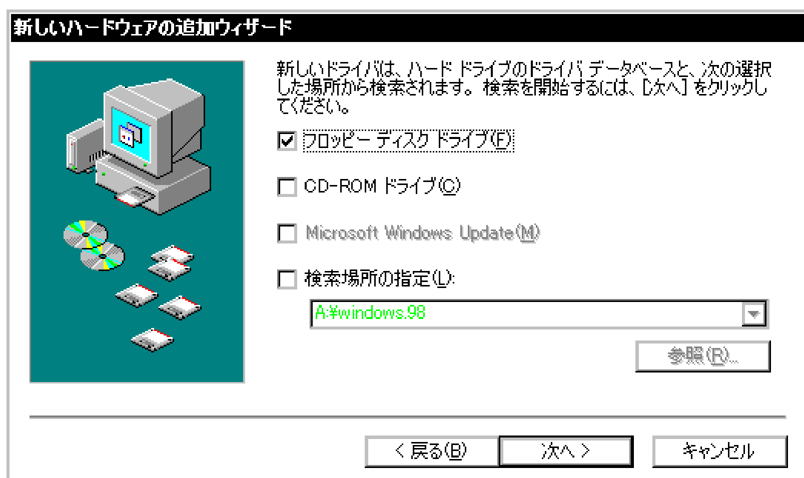


図 2.3.3

(7)　「次へ」ボタンをクリックしてください。

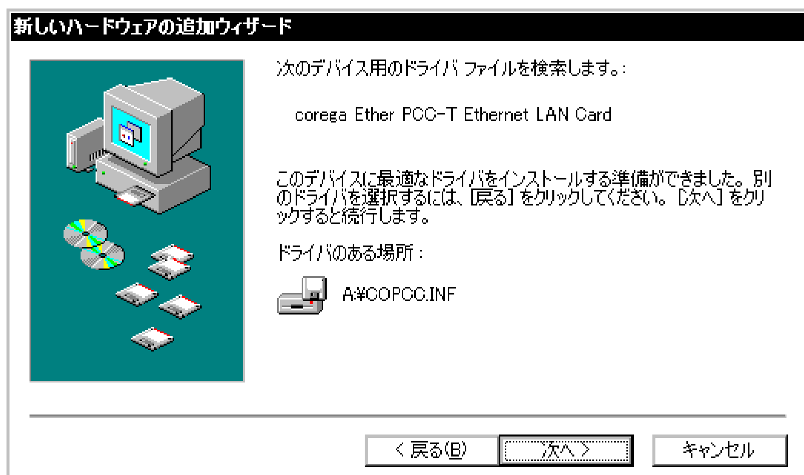


図 2.3.4

(8) Windows98 は本製品のドライバーや、ネットワークを使用するために必要な Windows98 のファイルを CD-ROM からハードディスクにコピーします。

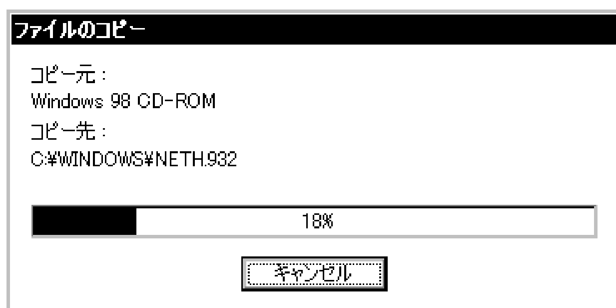


図 2.3.5

コピーの途中で下記のダイアログが現れる場合、CD-ROM が CD-ROM ドライブに正しく入っていることを確認し、「OK」をクリックしてください。

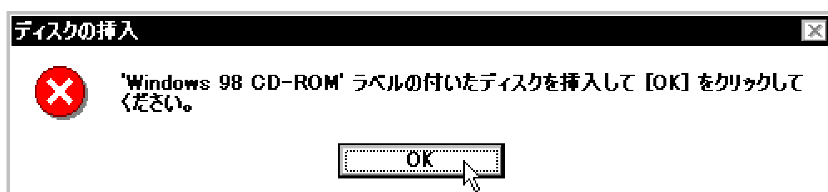


図 2.3.6

次のダイアログが表示されたら、「ファイルのコピー元」で「A:\windows.98」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。本製品のドライバー「copcc.sys」は、本製品に付属のドライバーディスクからコピーする必要があります。ここでは、フロッピードライブを「A:\」と仮定します。

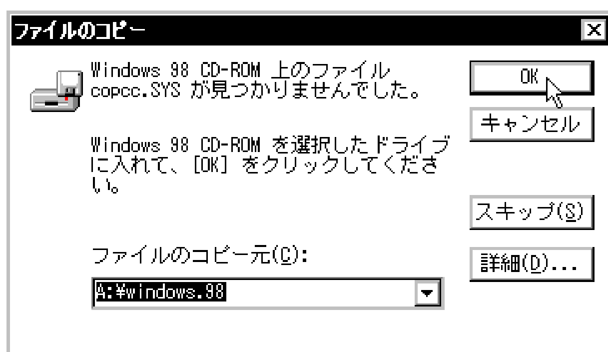


図 2.3.7



「ファイルのコピー」ダイアログで、本製品のドライバー以外のファイルがみつからないと表示された場合は、AT 互換機 /PC98-NX の場合はパスとして「D:\win98」を入力し、PC-9800/PC-9821 の場合はパスとして「Q:\win98n」を入力してください。ここでは、CD-ROM ドライブ名をそれぞれ[D:」および「Q:」と仮定します。

(9)　ドライバーのインストールが終了します。「完了」ボタンをクリックしてください。

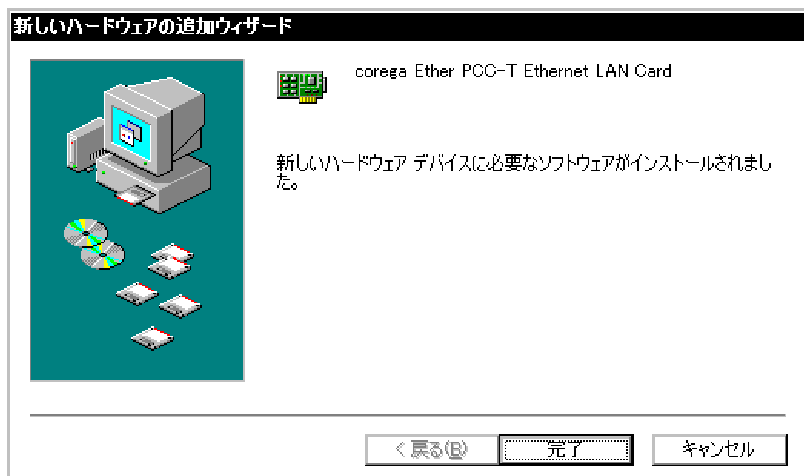


図 2.3.8

(10) 次のダイアログが表示されます。フロッピードライブからドライバーディスクを取り出し、「はい(Y)」ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。

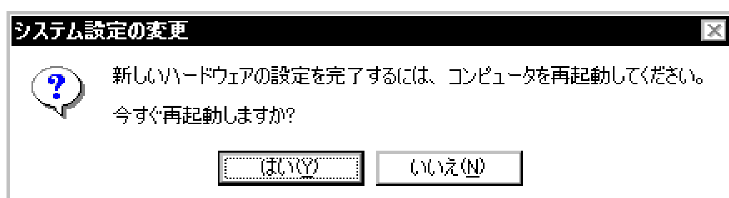


図 2.3.8



インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご使用になっている場合は、DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。

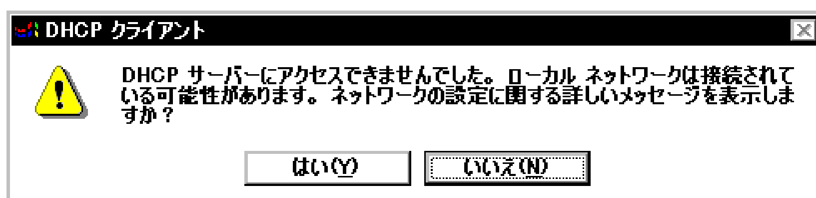


図 2.3.9

(11) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「**2.4 インストールの確認とアダプターの設定**」にお進みください。

2.4 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1. デバイスマネージャによるインストールの確認

(1) 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」をダブルクリックしてください。



図 2.4.1

(2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば「PCMCIA ソケット」の下にご使用のコンピュータにインストールされているPCMCIA コントローラの名前が、「ネットワークアダプタ」の下に「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」が表示されます。



図 2.4.2



PCMCIA コントローラの名称は、ご使用のコンピュータ機種により異なります。上記のダイアログは一例です。また、ご使用のコンピュータが CardBus 対応モデルであり、かつ PCMCIA コントローラが 16bit/32bit 共用のタイプである場合、PCMCIA コントローラは同じ名称が 2 列以上表示されます。

本製品のアイコンに「×」「？」「！」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「3 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

(3) 「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」→「情報」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図 2.4.3　デバイスの状態

(4) 本製品が使用するI/Oベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows98によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

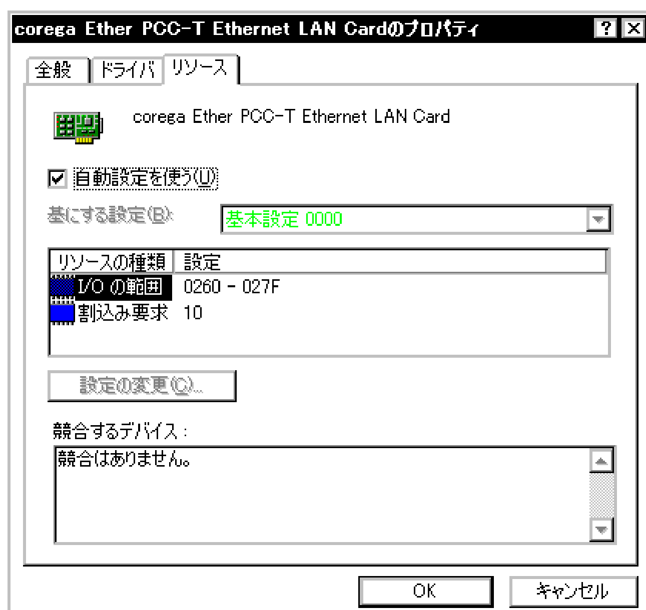


図 2.4.4　リソースの確認

2.　PC カード(PCMCIA)による確認

「PCカード(PCMCIA)」(コントロールパネル)をダブルクリックします。「ソケットの状態」を表示すると該当するソケットに「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」が表示されていることを確認します。

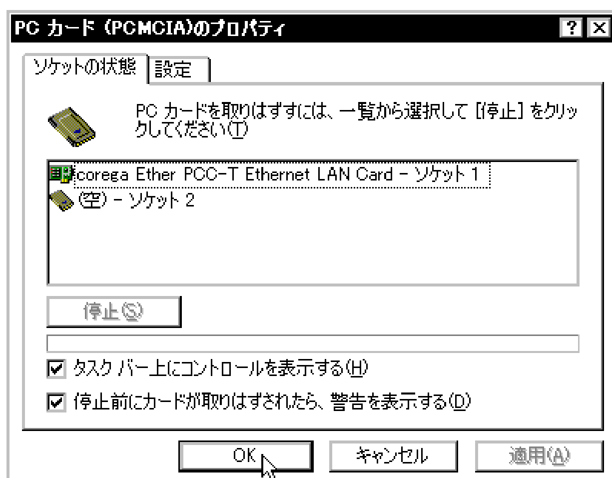


図 2.4.5　ソケットの状態

3. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動し、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な項目の設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。ダイアログによって再起動を促されます。再起動後、施した設定が有効になります。設定についての詳細は、システム管理者にご確認ください。



図 2.4.6　ネットワークの設定

2.5 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、本製品用の最新のドライバーを入手したときや、Windows95 から Windows98 へアップグレードした場合に実行します。


注意

Windows98 の CD-ROM は、更新作業を始める前に CD-ROM ドライブに挿入しないでください。Windows98 の CD-ROM は、以下の手順で要求された時点で挿入してください。

(1) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」とたどり、「ネットワークアダプタ」下の「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください(図 2.4.2 参照)。

(2) 下記のダイアログで「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新(U)」ボタンをクリックしてください。



図 2.5.1

(3) 「次へ」ボタンをクリックしてください。

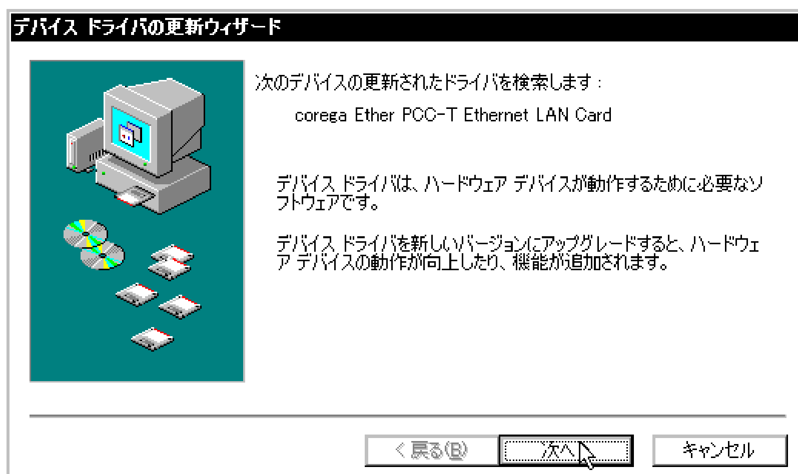


図 2.5.2

(4)　「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

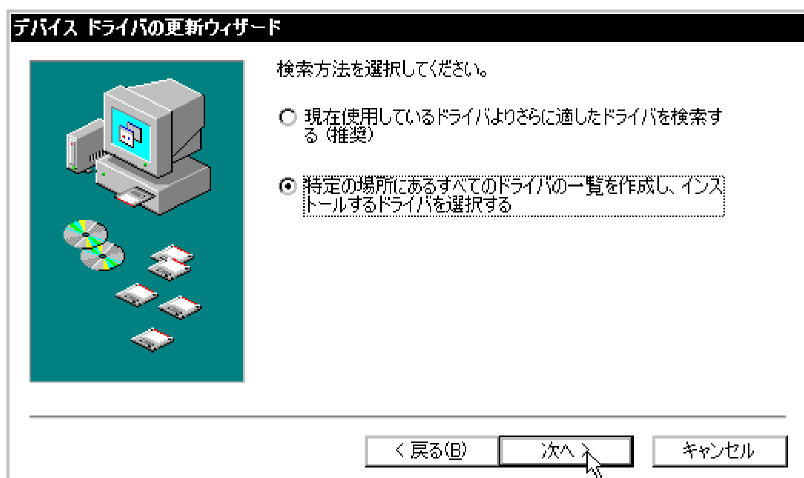


図 2.5.3

(5)　「すべてのデバイスを表示」ラジオボタンをクリックし、「ディスク使用(H)」ボタンをクリックしてください。



図 2.5.4

(6)　本製品の最新のドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、次のダイアログで「A:\windows.98」を入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピードライブを、「A:」と仮定します。

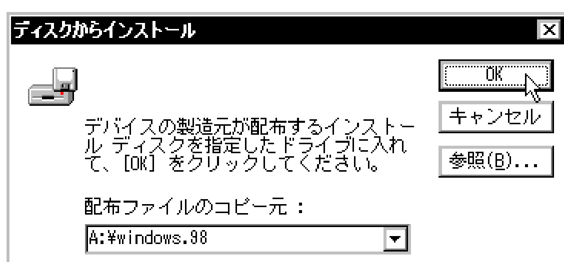


図 2.5.5

(7)　Windows98によって本製品のドライバーディスクが走査され、「デバイスの選択」ダイアログが現れ、モデル名には「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」が表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。次のダイアログは閉じ、図2.5.4に戻りますが、図2.5.4が自動的に閉じるまでそのまましばらくお待ちください（1～2分）。

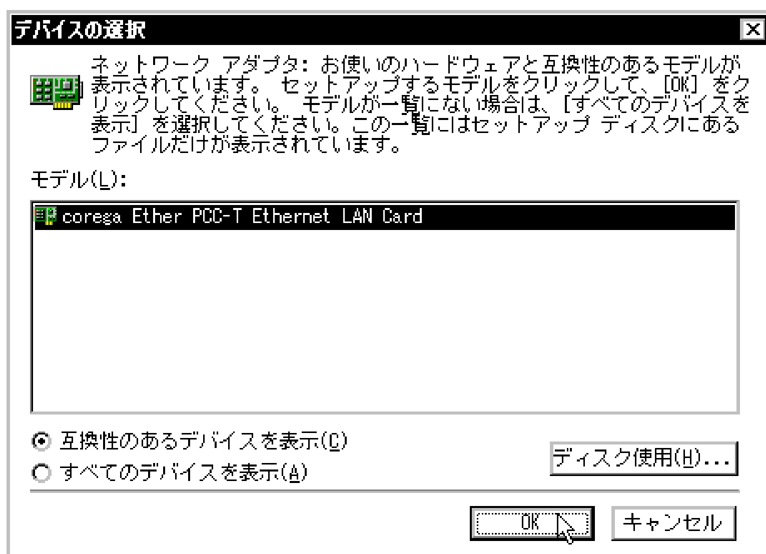


図 2.5.6

(8)　次のダイアログで「ドライバのある場所」が「A:\WINDOWS. 98\COPCC.INF」であることを確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。ここでは、フロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

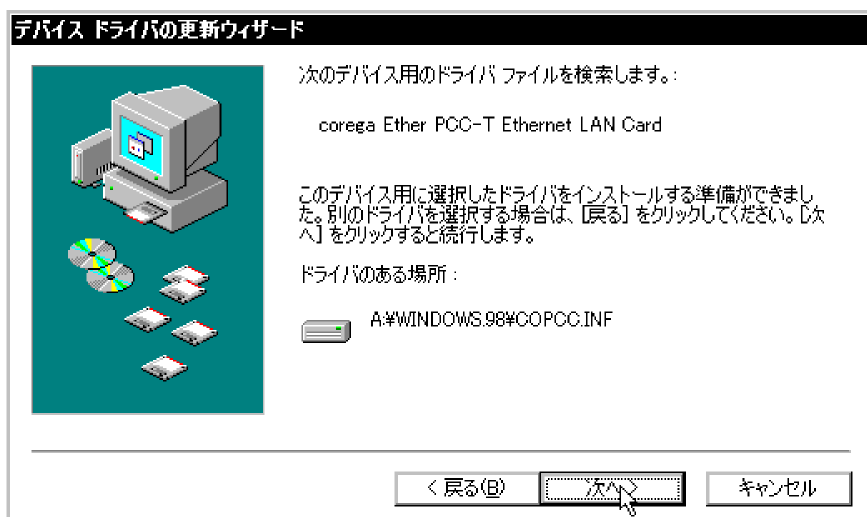


図 2.5.7

(9) Windows98 の CD-ROM が要求されたら、Windows98 の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。



CD-ROM は、この時点で CD-ROM ドライブに挿入してください。あらかじめ挿入しておかないでください。



図 2.5.8

(10) 次のダイアログが表示されたら、「ファイルのコピー元」で「A:\windows.98」を指定し、「OK」ボタンをクリックしてください。本製品のドライバー「copcc.sys」は、本製品に付属のドライバーディスクからコピーする必要があります。ここでは、フロッピードライブを「A:」と仮定します。

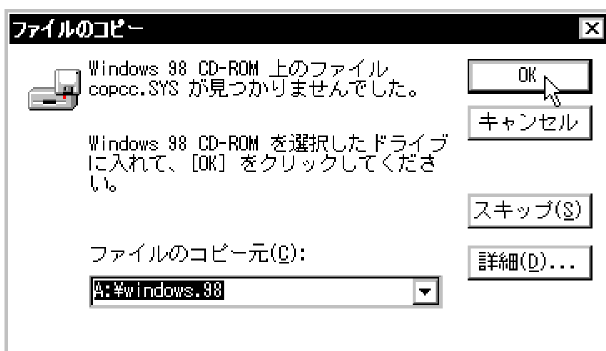


図 2.5.9

(11) 本製品のドライバー以外のファイルが CD-ROM からコピーされます。

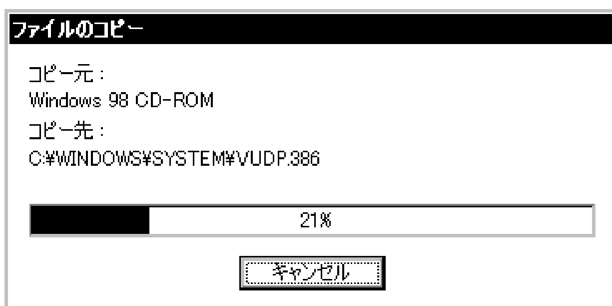


図 2.5.10

(12)「完了」をクリックしてください。

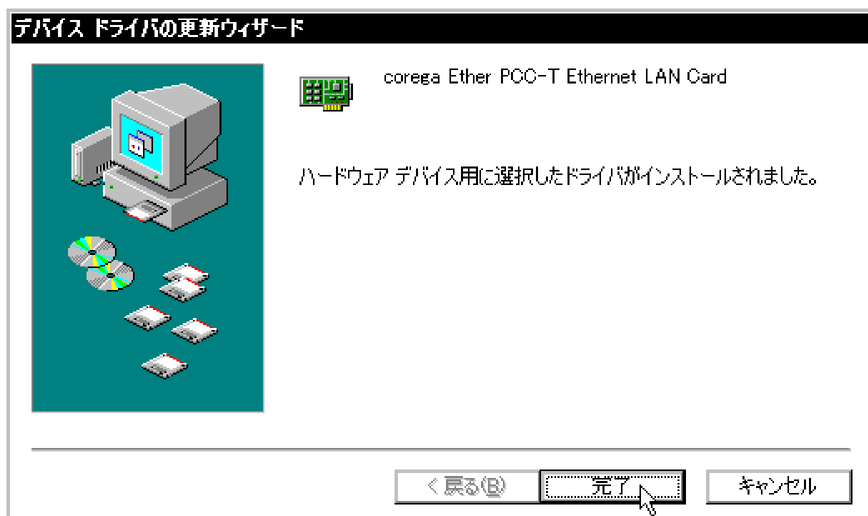


図 2.5.11

(13) 次のダイアログが表示されます。フロッピードライブからドライバーディスクを取り出し、「はい(Y)」ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して起動します。

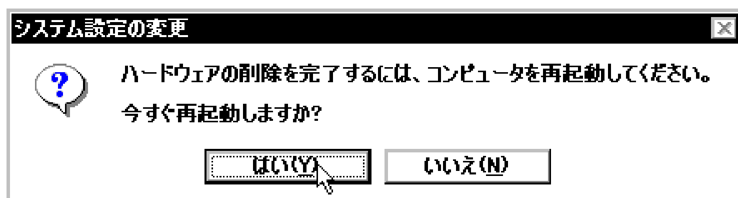


図 2.5.12

2.6 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから、再インストール作業を行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順に従って、間違ってインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

(1)　「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」を選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。



図 2.6.1　ドライバーの削除

(2)　次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



図 2.6.2　デバイス削除の確認



「ディスクの挿入」ダイアログで Windows98 の CD-ROM を要求された場合は、CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。また、「ファイルのコピー」ダイアログで、ファイルがみつからないと表示された場合は、AT 互換機 /PC98-NX の場合は「D:\win98」を、PC-9800/PC-9821 の場合は「Q:\win98n」をファイルのコピー元として入力してください。ここでは、CD-ROM ドライブ名をそれぞれ[D:」および「Q:」と仮定します。

(3)　次のダイアログが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

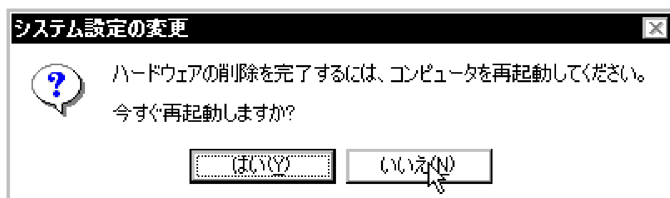


図 2.6.3

(4)　「ネットワークアダプタ」の下の本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」をクリックしてください。



図 2.6.4　削除後のデバイスマネージャ

(5)　コンピュータの PC カード取り外しボタンを押し、本製品を取り外してください。

(6)　Windows98 を「終了」してください。次回の Windows98 起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

2.7 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

(1)　「2.6 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。

(2)　「2.3 ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

3　ドライバーのトラブル

ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。


注意

以下の手順は、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください。

3.1 本製品を認識しない

「2.4 インストールの確認とアダプターの設定」の「1.デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

1 正常にインストールできない

2 PC カードが検出されない

3「ネットワークアダプタ」の項目がない

4「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下にはいってしまった

5 デバイスマネージャで「!」「？」マークが付く

6「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」が 2 つ以上ある



「3」や「4」のような障害は、ドライバーインストール中に行われる netapi.dll などの Windows98 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が考えられます。

ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

(1)　不正にインストールされた「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。

(2)　「2.6 ドライバーの削除」の手順の(2)以降に従い、ドライバーを削除します。

(3)　「2.3 ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

3.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

デバイスマネージャの「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」アイコンに「×」マークがある場合は、デバイスが「**使用不可**」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

(1) 「corega Ether PCC-T Ethernet LAN Card」を選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「全般」タブを表示します(図 2.4.1 〜 3)。

(2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

3.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIAコントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIAコントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



ご使用のコンピュータのPCMCIAコントローラ専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順で PCMCIA コントローラの再インストールを行ってください。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、どのようなドライバーがインストールされていたか記録した後に、以下の手順を実行してください。



ご使用のコンピュータが CardBus 対応の機種である場合、使用する PC カードに応じて 2 種類(16bit/32bit)の PCMCIA コントローラを切り替えなければならないものがありますのでご注意ください。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルでご確認ください。

「2.4 インストールの確認とアダプターの設定」の「1.デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「PCMCIA ソケット」の下に表示されるPCMCIAコントローラのアイコンに「?」、「!」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください。

(1) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」と進みます。

(2) 「PCMCIAソケット」の下にあるPCMCIAコントローラを選択し、「削除(E)」をクリックしてください。

(3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。

(4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。

(5) Windows98 を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、本製品を PC カードスロットから取り外します。

(6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PC カード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。

(7) 「ハードウェアの追加」アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィザード」が起動します。「次へ >」をクリックしてください。(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります。)

(8) 「はい(通常はこちらを選んでください)(Y)」を選択し、続く2つの質問に対して「次へ >」をクリックして進みます。最後に「完了」をクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。

(9) 続いて、自動的に「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してください。

3.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Playに対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows98に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値が他のPlug & Play対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないようにしておくと、値の重複を回避できます。

(1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ)、I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。

(2) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「コンピュータ」→「コンピュータのプロパティ」パネル→「リソースの予約」と進みます。

(3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

4 ネットワークのトラブル

「**通信できない**」とか「**故障かな？**」と思われる前に、以下のことを確認してください。

4.1 LINK LED は点灯していますか？

LINK LEDは、ハブ（またはスイッチ）と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方のLINK LEDが点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブの電源がオンになっているか確認してください。

- UTP ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「**ストレートタイプのケーブル**」を使用しなければなりません。

- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート（カスケードポート）を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続している場合、カスケードポートを「**MDI-X**」や「**to pc**」に設定しなければなりません（通常のハブのポートとして設定する）。

- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

- UTPケーブルが不良ではありませんか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため、他のケーブルに交換してテストしてみてください。

4.2 LINK LED は点灯しているが ...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTPケーブルの長さは正しいですか？ ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは、最長 **100m** と規定されています。

- 正しいUTPケーブルを使用していますか？ 10BASE-Tは、「**カテゴリー3**」以上のものが使用できます。

- UTPケーブルが不良ではありませんか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため、他のケーブルに交換してテストしてみてください。



おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

corega は株式会社コレガの登録商標です。
イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

1998 年 07 月 01 日　　Rev.A　　初版